

JDつうしん



警察庁・国土交通省認可共済
ジェイ・ディ共済協同組合



令和八年 謹賀新年

■ 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、本組合の共済事業の運営並びに各種取組みに対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、運転代行業界にとって事業環境が一段と厳しさを増した一年となりました。近年の物価上昇に伴う人件費や燃料費などの必要経費の増大は営業活動に大きな影響を及ぼし、組合員の皆様におかれましても、営業の維持・安定化に向けたご努力が一層求められる状況が続きました。

このような厳しい環境下にありながらも、組合員の皆様は、地域の飲酒運転根絶の担い手として日々の業務に取り組まれています。また、深夜帯における飲酒後の安全な帰宅手段の提供は、地域社会の安心と業界の信頼性を支えるものであり、そのご尽力に対し深く敬意を表します。

一方で、本組合におきましては、事故受付件数の増加に歯止めがかからず、加えて、工賃を含む車両修理費や代車費用の高騰が重なったことにより、今年度における共済金の支払額も大幅に増えております。

これらの状況を踏まえ、共済制度を持続させるための措置として、昨年12月1日より、契約更新及び新規契約に係る月額共済掛金の改定を実施いたしました。組合員の皆様にはご負担をおかけすることとなりましたが、共済制度の将来性と継続的な維持の観点からご理解を賜りましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

本年も、「組合員の事業を支える共済」「安全と信頼を軸に成長する業界」の実現を目指し、共済事業の適正な運営、事故防止の取組強化、組合員サポートの拡充に加え、業界団体との連携を深め、業界の課題の解決に向けた施策を着実に進めてまいります。

また、未払免責金額への適切な対応や契約審査基準の見直しなど、既に着手している改善項目につきましても、より実効性の高い運用となるよう丁寧に取り組んでまいります。さらに、組合全体の公平性を確保する上で、不当な登録（いわゆる間引き登録）や共済金の不正請求などの不適切な行為の抑止にも引き続き取り組み、信頼性の高い共済事業の運営体制を堅持してまいります。

新しい一年が、運転代行業界のさらなる発展と、組合員の皆様が安心して営業活動に取り組める年となりますよう、職員一同と力を合わせ、全力を尽くしてまいります。



理事長 長嶋 幹男